

SSH活動報告

科学プレゼンテーション

4月15日に高校1年生SSHクラス41名が、科学プレゼンテーションの授業の一環として、日本科学未来館を見学に行きました。見学をしながら自分の興味あるものを探し、クラスメートにわかりやすく説明しました。聞く側もただ聞くだけでなく、質問をするなどお互いの意見を深めました。また、TA（ティーチング・アシスタント）として、高校2、3年生のSSHクラスの生徒たちも、1年生のサポートをしていました。これから先、多くのことを学ぶ1年生だけでなく、自分の研究について発表する機会のある2、3年生にとっても、貴重な時間を過ごすことができました。

日本科学未来館に行って

1年10組 鈴木 志歩

日本科学未来館に行くのは初めてだったのですが、こんなに面白い施設だとは思っていませんでした。自分の興味のある事柄について、科学コミュニケーターの方と一緒に話した時間は非常に楽しく、時間を忘れてしまうほどでした。特に「ユノハナガニ」というカニの展示はとても興味深く、まだ解明されていないカニの生態について知ることができ、海洋生物に携わっていきたいという思いがより強くなりました。

この経験を糧に、夢に向かってより一層勉強に力を注いでいきたいと思えます。



井上先生による科学プレゼンテーションの授業



日本科学未来館でプレゼンテーションの実践練習

新しい知識

1年10組 石川 伸之介

僕は今回、日本科学未来館でたくさんの知識を得ることができました。

例えば、ロケットのエンジンの仕組みや実際に宇宙へ持っていかれたロボットなど、たくさんを知ることができました。そして僕は将来、機械を作る仕事をしたいと考えているので、今回得た知識を糧にし、夢の実現に一步でも近づけるように、毎日しっかり勉強をしていきたいと思いました。

TA（ティーチング・アシスタント）として意識すること

2年10組 佐藤 駿

私はTAとして日本科学未来館でのプレゼンに参加しました。今回私が最も驚かされたことは、1年生のプレゼン能力の高さです。緊張して話すスピードが速くなることも、目が常に手元の文章にいつってしまうこともほとんどなく、とても冷静にできていました。正直、自分は去年こんなに上手くできていなかったでしょうし、現在の能力もそれほど高いものではありません。そのため、自分からアドバイスを出していいのか不安になりました。しかし、これはTAになることで新たな視点で学ぶことができ、今回のように自分のことはもちろん、今まで学んできたこともさらに深く知ることができるでしょう。これに気付けたことが一番の収穫だと思います。

今後のTAの活動では、後輩がより深く理解するためのアシストを精いっぱいしていくと同時に、自身の短所を克服し、知識を増やしていくことも大切にしていきたいと思えます。



TAの先輩の話をしっかり聞いています